

多文化社会

—国際的な人の移動と多様性のあるコミュニティー—

2017年1月21日（土）

10:00～13:30（開場：9:30）

会場 海外移住と文化の交流センター 5階ホール
定員 80名（申し込み制）
参加費 無料
言語 日本語、英語（同時通訳あり）

日本を含むアジアおよび欧米の研究者・実務家から、国境を越えた人の移動にかかわる現状と課題、送り出し国、受け入れ国の各地における実践的取り組みの報告を通して、これからの望ましい多文化社会のあり方を考えます。また、議論を通して知見を共有し、シンポジウム参加者がそれぞれの国や地域での政策や取り組みに活かすためのヒントを探ります。ぜひ奮ってご参加ください！

お申し込み

URL または QR コードからアクセスしてお申し込みください。

http://web.cla.kobe-u.ac.jp/group/Promis/research/lecturers/cn16/TF_multicultural.html



お問い合わせ：
多文化社会シンポジウム事務局（神戸大学 Promis 内）
E-mail: gjcls-promis@research.kobe-u.ac.jp
tel: 078-803-7494

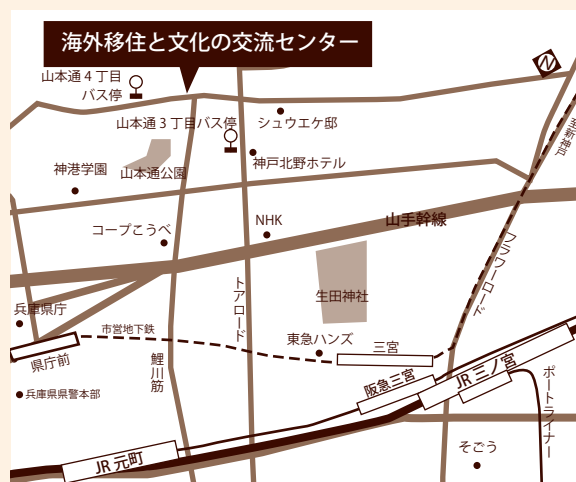
アクセス

海外移住と文化の交流センター 〒650-0003 神戸市中央区山本通3丁目19番8号

- ・JR 元町駅東口から鯉川筋を北上し、徒歩約15分
- ・市営地下鉄「県庁前」駅より徒歩10分
- ・JR・阪神・阪急 三宮から市バス7系統「山本通3丁目」または「山本通4丁目」下車徒歩約2分
- ・新幹線、新神戸駅からタクシーで約10分

共催：公益財団法人トヨタ財団，神戸大学国際文化学研究所・国際文化学研究推進センター（Promis）
日本学術振興会研究拠点形成事業（A. 先端拠点形成型）「日欧亜におけるコミュニティの再生を目指す移住・多文化・福祉政策の研究拠点形成」、科学研究費（基盤研究B）「地中海の移民・難民問題とEUによるガバナンス形成—南欧諸国の戦略を軸に」（2016～2019年度）

後援：神戸市





プログラム

- 10:00 開会挨拶 遠山敦子(トヨタ財団理事長)
挨拶 神戸市
- 10:15 基調講演
- ① 地中海を渡る移民：海洋法と人権をめぐる諸問題
ジュゼッペ・カタルディ(ナポリ東洋大学 教授)
 - ② 移民子弟と多文化家族のための包摂的な社会の実現に向けて
マルジャ・アシス(フィリピン・スカラブリニ移民センター ディレクター)
- 11:15 話題提供
- ① 神戸定住外国人支援センター(KFC)による共生への模索
金 宣吉(神戸定住外国人支援センター 理事長)
 - ② (調整中)
安岡 正晴(神戸大学大学院国際文化学研究科 准教授)
 - ③ 『寛容』を超えて—メコン地域における移住者の社会的包摂
針間 礼子(メコン移住ネットワーク コーディネーター)
 - ④ ハイブリッドなアイデンティティ：西ヨーロッパにおける市民的統合方針への挑戦を考える
ウラディミール・クレック(神戸大学国際連携推進機構 特命准教授)
- 12:10 休憩
- 12:20 パネルディスカッション
モデレーター：青山 薫(神戸大学 Promis 教授)
パネリスト：ジュゼッペ・カタルディ、マルジャ・アシス、金 宣吉、安岡 正晴、針間 礼子、ウラディミール・クレック
- 13:20 閉会挨拶 坂井 一成(神戸大学 Promis 教授)
- 13:30 終了

登壇者プロフィール

ジュゼッペ・カタルディ(ナポリ東洋大学 教授)

イタリア出身。ナポリ東洋大学教授。同大学にて人文社会科学部長、副学長などを歴任。国際海洋法学会会長。“The Italian Yearbook of International Law”(イタリア国際法年鑑)共同ディレクター。国際公法、EU法に関する編著書多数。イタリア議会、外務省等のアドバイザーも務める。

金 宣吉(神戸定住外国人支援センター 理事長)

龍谷大学大学院経済学研究科修士課程修了。ソフトウェア開発企業、社会福祉法人等勤務を経て阪神大震災後、「兵庫県定住外国人生活復興センター」の発足に参画したのち「神戸定住外国人支援センター(KFC)」を結成、現在に至る。他、神戸大学非常勤講師、自治体国際化協会地域国際化推進アドバイザー、兵庫県外国人県民共生会議委員ほか。

針間 礼子(メコン移住ネットワーク コーディネーター)

サセックス大学開発学研究機関修士課程修了。国際移住機関(IOM)にてインターンシップ後、1999年よりAsian Migrant Centre(AMC)にリサーチコーディネーターとして参画。2003年メコン移住ネットワーク(MMN)発足に関わり、現在はリージョナルコーディネーターとして調査、提言、キャパシティビルディング、ネットワーク形成等の各事業に従事している。2015年度トヨタ財団国際助成プログラム対象者。

青山 薫(神戸大学大学院国際文化学研究科 教授)

エッセックス大学社会学部大学院博士課程修了。研究分野およびテーマは、社会学、ジェンダー/セクシュアリティ、移住、性労働など。主著に『セックスワーカー—とは誰か』(2007年、大月書店)、Thai Migrant Sexworkers from Modernisation to Globalisation, Palgrave Macmillan, 2009。

マルジャ・アシス(フィリピン・スカラブリニ移民センター ディレクター)

フィリピン出身。スカラブリニ移民センター・ディレクター。“Asian and Pacific Migration Journal”共同編集者。長年アジアにおける国際移民と社会変革に関わるプロジェクトに従事。最近の関心は特に、移民をめぐるガバナンス、移民子弟や家族のエンパワメントなど。米国ボーリング・グリーン州立大学博士(社会学)。2015年度トヨタ財団国際助成プログラム対象者。

安岡 正晴(神戸大学大学院国際文化学研究科文化相関研究 准教授)

早稲田大学大学院政治学研究科博士後期課程政治学専攻単位修得退学。現代アメリカ政治について比較公共政策の視点から研究している。

ウラディミール・クレック(神戸大学国際連携推進機構 特命准教授)

ドイツ出身。ドレスデン工科大学修士(文化行政)、ツィタウ国際大学博士(政治学)。ドレスデン国際映画祭のプロジェクスマネージャー、ザクソニー文化基盤研究所リサーチフェロー、ブランデンブルグ州欧州メディア政策アドバイザーなどを歴任。専門は、欧州文化行政、文化政策。

